

体育祭への御協力に感謝

過日は、風の強い中、多くの保護者の皆様に御参観いただき、第15回体育祭を成功裡に終えることができました。誠にありがとうございました。体育祭では、生徒一人一人が一生懸命に競技や演技に取り組んでいるときの表情や紅白の応援団が一つになって応援合戦をしているときの迫力はとても素晴らしいものでした。

今後、1・2年生は郡市新人戦、3年生は進路に向けての学習、そして全学年とも合唱コンクールや香取学習2の発表会があります。これからも保護者の皆様の御支援・御協力を宜しくお願いいたします。



体育祭を終えての応援団長の感想はPTA広報に掲載されますので、副団長の感想を紹介します。

みんなへ感謝

紅組副団長 碧泉さん

今年は、平成最後の、そして中学校生活最後の体育祭でした。私は、紅組応援団の副団長として、また、ダンスリーダーとして、体育祭に挑みました。

体育祭当日、風が強い中でしたが、入場行進からきちっとできていてすごいと思いました。私のいる紅組は、午前の時点で40点負けていました。しかし、午後の団体種目の綱引き、棒引き、騎馬戦で勝利することができ、逆転優勝することができました。ハプニングもありましたが、応援優勝もつかむことができました。紅組が一致団結した結果だと思います。

また、3年生の力はすごいと思いました。長縄、ボール運びリレーの両方で1位を取ることができ、最高の思い出となりました。

初めの頃は、応援練習もダンス練習もうまくいきませんでした。しかし、みんなと協力して進めていくうちに、考えていたものより、もっと良いものができあがりました。「3人寄れば文殊の知恵」と言いますが、協力したときにできる力は、とても大きなものだと思います。

このような経験ができたこと、とても嬉しかったです。仲間に感謝したいです。

最後の体育祭

白組副団長 ひかるさん

私が体育祭で一番心に残ったのは応援団です。なぜなら小4の頃からずっと続けていて応援練習が一番楽しい時間だからです。

私は皆が盛り上がり、笑顔になる瞬間が好きです。その瞬間を作るために応援団に入りました。皆がどうしたら笑顔になるのか、どうしたら楽しめるのかを考えながらする応援練習はとても楽しかったです。

しかし、楽しい気持ちだけでなく、「もうすぐで体育祭…。最後の体育祭…。」という寂しい気持ちもありました。ですが私は「どんなにもがいたって、もうすぐ本番は来る。今できる限りのことをしよう。」と心に言い聞かせていました。

そして当日、体育祭が終わった瞬間に一気に切なさや達成感で思わず泣いてしまいました。

最後に思ったことは、「やって良かった。」ということです。このクラスで、この仲間と頑張れて良かったと心の底から思いました。

